
音楽科教育部会

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

主題設定の理由

新学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒がより主体的に音楽を学ぶことを目指している。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、思考、判断して自分達のイメージにあった表現を導き出そうとするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが、いっそう求められている。そして「私が感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通した自己実現として表れたり、「私がいいなと思う音楽」「私が好き音楽」など、一人ひとりが自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉でその音楽のよさを説明したりすることができるようにすることが、音楽の学力として求められている。

このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要である。このような活動を通して、子どもたち一人ひとりに音楽を通して自己表現が高まることを願い、研究を深めてきた。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化
- ・講習会（歌唱指導法 指揮法 発声法 合唱指導法）

(2) 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・小中学校の発達段階に合わせた系統性のある指導について

(3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成26年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱「いつまでも」「友だちだから」）
- ・授業にいかせる講習会 3回実施
- ・毎回の実践研修（合唱）
- ・音楽の実践発表（普段の音楽の授業 音楽集会など 全員が発表）

2 研究の方法

(1) 教協研究日 (10回 うち統一授業研究日 2回)

- ・日川小学校 行田 玲子先生 (8月)
- ・塩山中学校 水上 陽介先生 (2月)

(2) 講習会・学習会

- ・講師：清水 雅彦先生 「声楽・合唱の実践と指導方法」(6月)
- ・講師：田久保 裕一先生 「指揮法講習会」(8月)
- ・講師：若松 敏先生 「歌唱指導講習会」(10月)

II 成果と課題

今年度は、これまでの研究をいかしながら、教師の力量の向上を目指すための講習会の実施、実践発表、通年の合唱曲を決め毎回合唱をする実践も行った。3回の講習会では、歌唱指導・指揮法・曲の構造や作曲者の思いなどを学び教員の指導力向上を高めることができた。実践発表では、音楽集会や普段行われている授業について交流をすることで自分の実践に生かすことができた。研究主題に迫るための2回の研究授業では、事前に部会員全員で検討会を行い、授業の流れや内容などを共通理解した上で臨むことができた。授業の中で子どもたちは、「自分の音楽」を組み立てた後、言葉や音・音楽の要素などを交えてグループ内でのやりとりをし、さらに練り上げた「私たちの音楽」へと高めていく姿がみられた。研究討議の中で、実態に即した教材選択の在り方や小中連携を意識した指導について討議が深まり大変有意義であった。教師側が9年間の発達を意識して系統的に学びを仕組むこと、聴き取る力・感じ取る力を高めること、子どもたち一人一人が自分の思いや意図を伝え合うことなどが重要であることを再確認できた。

来年度も今年度のテーマを踏まえて研究を進めていく方向で、来年度に向けて、「音楽づくり」「創作」の研修を積極的に設定したいと考えている。実践発表では、効果的な教材教具・ワークシート・評価方法等のアイデアを持ち寄るとさらに研究が深まることも確認し合った。

III 成果物

- 小学校 第1学年 「きよくのきぶんをかんじてえんそうしよう」
日川小学校 行田 玲子先生
- 中学校 第1学年 「平調子の響きを感じ取ろう」
塩山中学校 水上 陽介先生

(部長 廣瀬敦子)